

消防費

消火栓の整備

金田委員 消火栓整備に関して、予算に対して700万円ほど減額になっているが、これは計画に沿ったものか。
総務課長 当初5件（新設1、移設2、交換2）の整備を予定していたが、そのうちの移設1件が道路工事の進捗により実施できなかったことから減額となった。



道路工事で移設

消火栓への代替え

丸川委員 無蓋貯水槽の有蓋化について地域から要望がある中で、消火栓で代替え可能な箇所について、地域で理解していただくための説明をどうしていくのか。

総務課長 消火栓、防火水槽の位置関係をデジタル地図に落とし込んで、有蓋化、代替え、また廃止も含めて可視化できるように準備を進めている。これらを踏まえて地域の皆様と話を進めていきたい。

教育費

学校生活支援員

笹原委員 特別に支援が必要な児童生徒が25%いるとのことだが、その要因は。また、支援員は足りているのか。

教育次長 特別支援教育

育に対する理解が進み、適切に関係機関や医療とつながり、結果として人数が増えた。支援員は現在、荒砥小に3人、他の小学校と白鷹中に2人。生徒数の多い中学校に増員を検討したい。

中学校グラウンド排水対策工事

竹田委員 実施設計まで行っただが、現在の進捗状況は。

教育次長 国の交付金を活用しながら実施する予定だったが、現時点で交付金の採択に至っていないため着手できない状況となっている。今後も継続して交付金の申請を行い、採択内定次第、着工できるように準備を進めていく。

特別会計

介護保険

介護施設の利用状況

竹田委員 ショートステイやデイサービスの利用状況はどうか。

健康福祉課長 両サービスとも利用者が減少傾向にある。

竹田委員 特別養護老人ホーム待機者の動向はどうか。

健康福祉課長 白光園は待機者が減少している状況。退所者も多く、今10床ほど空いていると聞いている。マイルスカイ中山の待機者はほぼ横ばいの状況である。

賛成討論

竹田雅彦 議員

町民の福祉向上を

町税は、国の定額減税等により、令和5年度より約3000万円減少したが、収納率は96・3%と0・6ポイント上昇した。ふるさと納税も返礼品の条件変更により6718万円となった。今後も収納率の向上、寄付額増へ取り組んでいきたい。

各施策では、妊婦、こども、子育て世帯への一体的な相談窓口として「こども家庭センター」の設置や妊娠確定までの産婦人科受診料支援を行った。また、引き続き全年齢の保育料完全無償化及び副食費無償化を実施し、子育て世帯へ支援した。

飲食店の利用料金割引助成や地域応援券事業など、物価高対策に取り組まれ、一定の成果があった。

中学校体育館への空調設備導入や床のグレイドアップ、断熱機能の向上等の改修が行われ、環境が格段に向上した。

移住相談窓口を経由した移住者が10人、マルチワーカーが3人雇用されるなど、これまでの取り組みが着実に結果に結びついている。地域の活性化に期待する。各事業の効果を常に検証し、町民のさらなる福祉の向上のため、各施策の目標達成を切に望む。